

広報



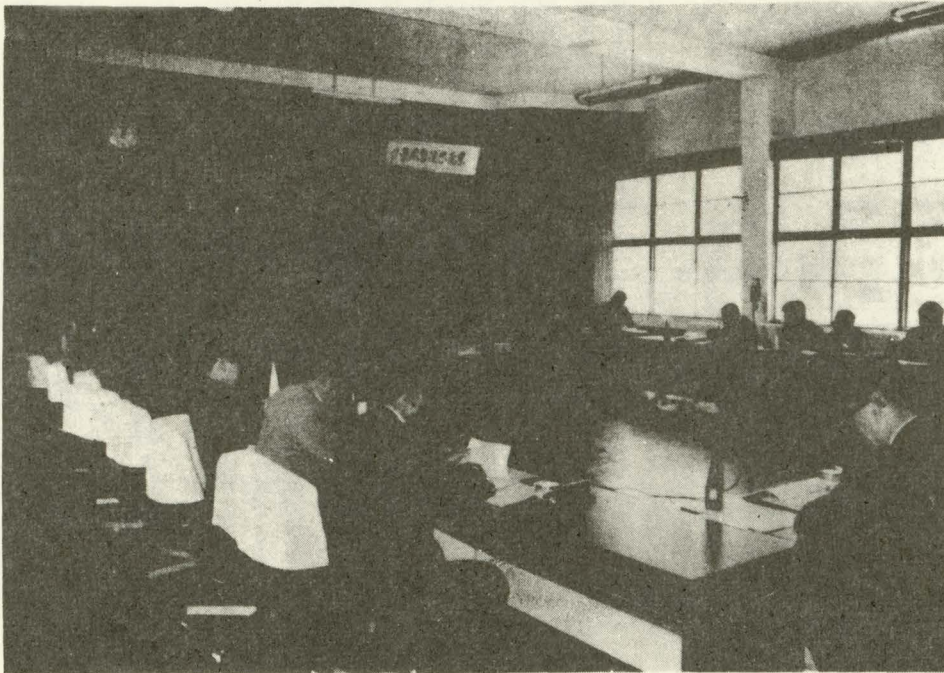
とうえい

昭和50年

7月15日

発行

NO. 187



町政発展のために
綿密なる議案審議！

(町議会臨時会から)

このほど、広報係では向う四年間住民のみなさんのパイプ役となる二十名の議員のかたがたに、当選にあたっての「私の抱負」と題して一筆お願いし掲載することになりました。

(敬称略)

なお、掲載順序につきましては議席番号順に掲載させていただきます。

議員二十名語る

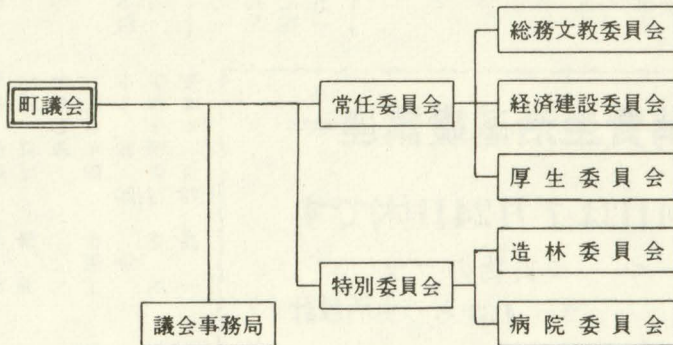
四年間の町政方針は！



特集号

町議会構成図

(昭和50年7月1日現在)



どうえい

副議長(経済建設委員兼)

安藤 孝

(大字川角)

日ごろ特に留意し考えていることの要点を申しあげたいと思

(一) 政治信念

政治は抽象論でなく現実を見つめ、具体性と夢の実現のため立向うことであると思

(一) 町政は住民のためにあり

町政の鉄則であり、議員は住民の代弁者であるということに常に心掛けています。住民とのコミュニテイ、住民との合意を持つこと、そこに生まれたアイデア、考え方は実に尊いものであります。したがって、町政懇談会、社会教育等の強力な育成を痛感しています。

(一) 過疎問題

本町の人口(五十年五月一日現在)は六千九百六十二人で、前年減少比百七十六名にも達しています。この原因を今一度よく反省し真剣に見直す時期に来ていると思

(一) 道路網の整備

道路は生活、産業のためにも充実した道路網を作らなくてはなりません。特に過疎地域の重点政策として、国・県道、公共林道、農免道路、代行道路、代行林道等、国県の子算でできるもの。高率補助で完遂実現するものを今以上の努力を払い、強力に押し進める必要を町に要望したいと思

(一) 国県施設の誘致

東栄町には国県立の公共施設が郡内町村と比較して極端に少ないし、町財政と利用者を考えても総合センター、天文台、東栄病院等の県立移管。新たに国民宿舎、各企業、官公庁の保養センター等を山紫水明の地に秩序ある誘致を図り、過疎対策の一環として、また住宅、供給公社等の宅地、建物の分譲事業を誘致することにより、老朽家屋の建替え、公共用地の移転の代替、基幹集落編成、人口対策としても取り入れるように要望したいと思

(一) 生活環境整備

生活環境整備

総務文教委員

安藤 和夫

(大字下田)

今回の改選に当たり、議会議員の一員としてみなさまがたの暖かいご支援をいただき心より感謝申しあげるとともに、責任の重大さ

今までの町政であまり積極的に取り上げられなかった問題であり過去の実績は環境整備事業費五十万円程度でありましたが、水道、ゴミ処理、し尿処理場も完成されてきましたが、これまでおきざりにされていた周囲の小さな問題解決も要望して行きたいと思

政を救いつつ大いに陳情に陳情を

厚生委員長

井筒 正

(大字足込)

このたび、ご推挙をいただいた三度立候補いたしましたところ、みなさまの暖かいご支援により今後四年間の議席を得ることのできましたことは、まことにありがたい極みであり感激の至りでありま

を感じております。

私もとより政治経験も乏しく不勉強ではありますが、みなさまのご意見をできる限り町政に反映させるべく誠意を持って、まじめな気持ちと態度で事に対処したいと思

重ね一刻も早く解決をすべきと思

(一) 産業開発

本町は農振法、自然公園法等で開発の制限を受けている部分が面積的に大きいので、法に縛られるだけでなく法を活用し、その見返り事業を要求し環境整備に努め、産業と経済の発展、住民の生活安定に力を入れるべきであると思

○ ○

同時に町民の代弁者として町政に参画する責任の重大さを思う時、心も新たに身の引きしまる感

私は過去議席にあること二期、八カ年の間この責任ということばを常に持ちつづけて行動してきたつもりであります。しかし、微力のためじゅうぶんご期待に添えなかつた点も多々あつたことを反省いたしました。幸い体力にも恵まれていますので、今後みなさまの一番望まれる目標に向っていつその努力をいたす所存であります。

思いますに、昭和五十年は東栄町発足二十年を迎え、いよいよ成人に達した年次にあたります。青年のように前途に希望をもって、

その向上と発展のために全力を尽くすべき時であると考えられます。しかし、現実にはその道程は厳しいものがあることを自覚しなければならぬと存じます。

まず、町予算の歳入を見ますと自主財源の伸びに大きな期待はできず、やはり国の交付税、国・県の補助等の依存度が大きな比率を示しております。また、歳出においては、教育、福祉、生活環境等の継続事業および新規事業のほか特に諸物価の急速な高騰による経常的経費比率の増大であります。

このような時に当たりあらゆる施策にわたりきめ細かに配慮してその解決を図ることがわれわれに課せられた責務であると考え、国県の施策と相まって町財政の調和を図り、最高の成果があがるよう全力を尽くしたいと思います。

みなさまの愛する東栄町、このもらのなつかしむ東栄町のすこやかな発展のため、みなさまの心を心として深く責任を感じて力の限りがんばる覚悟でございます。なにとぞみなさまのご指導とご支援を切にお願い申し上げます。

明るい町づくりに励みたいと思

今後ともよろしくご指導とご鞭撻のほどをお願いいたします。

総務文教副委員長

伊藤 勝太

(大字本郷)

今回の選挙に不肖、再度当選の栄に預り、また総務文教委員会副委員長の重責をも拝命し、深く感激いたしますとともに、これびと之に有権者各位のご支援の賜ものと厚くお礼申し上げます。

私は町政に対して常に有権者のみなさんのよき代弁者または耳目手足であることを念願し、取り分け次の三点をもって政治信念としております。

第一に公平適正なる行政を執行させるべく当局に対する強い監察督促。第二に町政の谷間の中の声なき声に対する暖かい配慮。第三は是非々々主義に徹してはばかりおそれる事なく発言しきれぬ姿勢。以上の信念のもと、前途多難な東栄町政の中にあつてみなさまとともに悩み、考え、生き抜いていく決意でございますので、お力添えをお願いいたします。

さて、私は今日の東栄町の置かれている課題はやはり過疎の問題に始まり過疎の解決につきるものと存じます。東栄町の過疎化のラインキングは現在富山村に次いで県下二位であり、この事実は当然、地域の交通、防災、福祉、教育、文化、産業等すべての生活パターンが崩壊寸前であることを意味し

ております。すなわち、人口流出に始まる過疎化の解消方とも言ふべき一つは、地域の個々の生活安定、関連する経済各団体の活動強化、これらを基盤として町の財政の健全化を図ることにあると存じます。

古書札記に説く「入るを量りて出づるをなす」は経済の原理を示し、地域の「入るを量る」の最大経済活動母体たる農協、森林両組合の各種農林業構造改善事業は町当局の指導も得成果を見るべきものがあります。前記二者と並称される商工会もその古い伝統と栄光優れた人材と豊かな経済力等前者に劣らないウェイトを占めていられるにもかかわらず、思い違ひであれば幸いですが、どうも遺憾ながら町当局よりの補助、育成、指導等いざさか遅れているのではと感じる訳であります。私も微力ではありますが、今後商工会を軸とする

総務文教委員

佐々木 重彦

(大字三輪)

今度の町議会選挙において、私は町民多数のかたがたのご支援を賜り当選させていただきました。紙面でもって厚くお礼申し上げます。

初めての公職であります。先輩のみなさまがたのご指導を得て

商工業部門の位置付けの是正との活動強化の応援に真剣に取り組みさせていただきます。前述に相対する「出づるを制す」の措置も、自主財源の乏しい東栄町においてはこれまた重要な意味を持つと言えます。すなわちこれがためには私は機会あるごとに、東栄病院をはじめ数々の社会教育文化施設のすみやかな県営移管が最善の策であると訴え続けてまいりましたが、幸いこのたびその一部が具体化の緒につく目にも立ちこの決心事を契機として、実は何かにつけさやかれてきた東低西高のそりなど一挙逆転と小児病的と人から笑われるかも知れませんが、空想まで働かせて勢い込んでいける近ごろです。

限られた紙面で失礼しました。今後とも変わらぬご指導とご鞭撻をいただけますようお願いいたします。

町民各位の期待に答えるよう自から勉強し真剣に努めていく覚悟でございます。

地方自治を正しく理解し発展させていくためには、そして新しい時代に対応するためには、町当局、議会、住民が三者一体となつて取り組む姿勢が必要でありましょう。自らの人格形成と識見を高めるために研修をおしませ、東栄町発展のために町民のための町政として微力ながら全力を傾け、議員としての責任を果す所存でございます。

厚生委員

伊藤 薫

(大字振草)

去る四月二十七日の町議会議員の選挙に当たり、みなさまの絶大なるご援助とご協力を賜り当選させていただきました。この気持ち忘れぬことなく自分に言い聞かせているものです。

私、いたって力の足りないものであります。町民のみなさまがたの総意をお聞かせ願つて諸先輩のかたがたのご指導とご鞭撻を受け賜わり、町政の推進にけんめいに微力ながら努力いたす覚悟でございます。

町内をこのほど巡視させていただきました。諸施設、病院および道路の開発等が進展されていることに驚嘆した一人でございます。地域の開発をとり残さないよう要望するとともに、これが推進されるよう努めたいと考えております。

なお、国道一五二号線古戸地区の拡張工事については、残されている約三百六十戸で一応完了するわけですが、県土木事務所においては何年かの中に区切つて工事を実施するように聞いておりますが住民の声としてはできるだけ一期今後ともよろしくご指導のほどを切にお願い申し上げます。

に工事を進行していただくよう要望しているわけですので、その旨申し上げすみやかに実施するよう努めたいと思っております。

楽しい明るい町づくりにとめるにあたっては、町民のみなさまのご援助をいただき、ご指導を賜りますようお願いするものでございます。

経済建設委員

佐々木 基夫

(大字本郷)

町議会議員に再び当選させていただきました。まに心からお礼申し上げ「私は必ずご期待に答えてがんばります」と自己の町政活動を反省し、今後の進路に対していざさか私の現在考えている町政に対する信条を申し述べてご批判をいただき、是非は是非は非として勇敏に町議会に反映いたしたいと思っております。

前回は初めての議員でありましたので正直に申しあげると、町政に対する意見も遠慮してみたり、政策を具体的に実践する場合にまわり途をしたり事後に気のついたようなことも反省しております。今回は私の経験した町政活動と今後あるべき町政への政治的信条を町民のみなさまに申しあげたとこ

(これより四面につづく)

ろ予想以上の賛成をおよせくださ
りましたので、今後はひたすらこ
の信念を常に座右の銘として実行
に移す所存でございます。

その第一は、町民の福祉の向上
とその施策の振興でございます。

町政に谷間をつくらぬように老
人問題、母子問題困窮者に対する
問題に心から心血を注いで、町民
のだれもが少しでも生活安定が可
能であり苦境におちいらぬよう
きめのこまかい豊かな温情のある
町政に寄与したいと思っております。

第二は、自然環境の問題であり
ます。山を愛し川を美しく道路を
充実して生活環境をよくすること
であると思っております。そして、産業
経済を重視して東栄町もついで
一番大きな悩みである農林業の

総務文教委員

さ さ き やす お み
佐々木 安臣

(大字西園目)

私はまず議会人としての使命を
明確にすべきだと思っております。議員
は執行者ではないということ、町
民の声を議会活動を通じて町政に
反映させるべく町と住民とのパイ
プ役としての役割を果たすのが議員
の任務でなければなりません。住
民より出た声あるいは秘めた声を
いかにして町の政策の中に取り入
れて、住民の福祉の向上と町政の
進展のために役立たせるか最大の

改善と人口の過疎現象の問題であ
ります。これこそ町民がみんなし
て考え、努力して前途に光明を見
いださなくてはならないことであ
ります。これらことから、町の
財政の確立であります予算のむだ
づかいのない健全な町財政に対し
て、町の執行者もこれを審議する
私どもにとつても最も重要な責任
のある問題でありますので、常に
心を配らなくてはならないと深く
考えております。

以上私の町議会議員としての抱
負の一端を述べましたが、どうぞ
ご批判の上気のついたことをご連
絡いただければどのようなことでも
喜んで拝聴いたします。

努力を傾注しなければならぬと思
います。
そこで、現在東栄町で進められ
ている大きな事業と、それらに関
連した重要問題と思われるものに
ついて考えを申しあげます。
中学校は統合されて一校となり
新校舎が建設され新学期から開校
されましたが、まだ体育館を始め
建設整備しなければならぬもの
がたくさんありますが、これに要
する資金計画と通学上の問題点、
また東栄病院ならびに診療所を含
めた運営と同時に、町全体の医療
行政の将来を展望したとき容易な
らざるものを感じいたします。こ
れに処する対策、総合文化センタ
ー、御園天文科学センターにつ

経済建設委員

い とう とよ かず
伊藤 豊

(大字御園)

このたび議会議員の選挙におき
まして、みなさまのご支援をいた
だき新人として町政に参加させて
いただくことになりました。紙面
をお借りいたしましたして厚くお礼申
しあげます。

私の所属する委員会は経済建設
委員会であります。議会人として
早や三ヶ月が過ぎましたが、その
間新人議員としてまた議会人とし
ての知識を得るため先輩議員の指
導を受けながら各委員会に加わり
町内の公共施設や道路整備状況な
どの視察を終えたところで、今

ましてもより高い教育の場として
は重視すべきものであります。こ
以上二つの問題についてはでき
れば町費負担の少ない施設とし
ての運営を要望すべきものと思
います。
中央簡易水道につきましては、
完成とともに関連水道との調整と
現在水道のない地域に対する施策
をいかにするかという点、また国
道一五二号線の改良工事が着々と
進められておりますが、その他県
道・町道・農道・林道などの改良
整備、舗装等施行いたしたいとこ
ろが山積みしておりますので、そ
の筋への陳情もし町費の許すかき

後四年間、新人は新人としての誇
りをもって、みなさまの代弁者に
なるため無力にむちうって少し
もお答えいたしたいとお願いいた
しております。

与えられましたテーマを私なりに
申し述べさせていただきます。指導
いただけるなら幸いと存じます。
高度経済成長がもたらしたも
のは社会構造の変化であると思いま
す。五十年代の課題は急速に変化
した地域格差の是正であります。
東栄町においても過疎問題は大き
な課題であり、私は町民の一人と
して議会人の一人として、みなさ
んのパイプ役として自覚し、真剣
に考えなくてはならないと思いま
す。東栄町憲章にもありますよう
に「明るく住みよい豊かな町づく
り」のために努力いたしたいと思
います。

り早急に行ないたいと存じます。
また、緑の山と大千瀬川の清流こ
そ山紫水明の地として郡歌にも歌
われているところでもあります。
公害問題のやかましい今日、せ
ひ確保するとともに水資源の還元
についても機あることに強請する
必要があるものと思っております。

紙面の関係上詳しく申しあげら
れませんが、町政はあくまでも公
平でなければなりませんし、恵ま
れるもの、恵まれないものない
ようそれぞれの地域に平等に行政
がゆきわたるよう最善の努力をす
べきだということを強調して私見
といたします。

幸い本年は県におきましても地
方計画の見直しが行なわれ、東栄
町も総合計画の見直しが行なわれ
る絶好の年次でもあり、また本年
は合併二十年を迎え、今後の生き
方について住民のみなさんととも
に考えるよい機会であると思いま
す。

広大な森林は豊かな緑を生み、
美しい水の流れは県下に誇りうる
ものがあります。この恵まれた自
然環境は、教育立地をかかげる東
栄町を見直す大きな要素となるこ
とはまちがいないと確信いたしま
す。
今後ともみなさまのご指導とご
鞭撻をお願い申し上げます。

厚生委員

かわ ね ひさし
川根 陳

(大字下田)

このたび町議会議員の選挙にあ
たり、町内のみなさまがたのご支
援を受けて当選させていただきました
しました。私は今新議員として第一歩
をみなさまのご期待にそうべく歩
み出しました。

私の抱負は、こどもの教育施設
の充実、道路の整備、健康な町づ
くり、郷土産業の振興等が私の考
えていることです。幸にして厚生
委員の一員として、学校、病院、

(これより五面につづく)

住宅、その他厚生所管の施設の運営管理の任務を担当することになりました。私たちはまず町内の各施設を見て回り、管理者の要望、意見等を集約してみ、整備する所の多いことに驚くとともにわれわれの任務、責任の重いことを感じました。

昨今の不景気の中で当町も新東栄中学校、中央簡水の事業を行なっております。このような大事業を継続中でもわれわれ住民のために少ない財源で最大の利用効果のある整備充実をするにはどうすればよいかということがわれわれに課せられた大きな問題として真剣に取り組み覚悟でございす。現在ははまだ消極的な始まりであつても現実的な計画をうち立てて実行し、計画が単なる未来像で終わらないようにしなければいけません。それには町民のみなさまの指導とご協力をなくしては何事も達成し得ないと強く感じております。みなさまとともに幸せのある東栄町の建設に努力します。よろしくお願いいたします。

総務文教委員

まる やま まさ お
丸山 正雄

(大字振草)

初議会の際に広報掲載用の原稿を提出するよういわれました。私は「私の抱負」であります。私にはそんな大それたものもないし

厚生副委員長

やま もと たけし
山本 武

(大字中設楽)

私は正しい町政、明るい豊かな町づくりを念願して再度立候補いたしましたところ、幸いにもみなさまがたのご支援をいただき当選の栄を受けることができました。感激し心から厚くお礼申しあげます。

過し四年間は、私は経済建設委員、総務文教委員、また特別委員会は造林委員副委員長として微力を尽してまいりましたが、今回は厚生委員会に所属し副委員長としての要職に選任され、また特別委員会は病院委員に属しました。この上は私、無力無能ではあり

そんな柄ではありませんが、あたえられた責務を果たすために今私に頭を浮かぶ課題について「こうしてもらいたい」「こうできたら」と思うことを記してその責を果たしたいと思ひます。

私の今度の町議選に掲げたモットーは次のことがでした。
「恵まれた郷土の自然を愛し」「祖先の残した遺産をたいせつにし」「より豊かで」「より明るく」「より住みよい」町づくりでした。この願いをかなえるためにはとりあえず次のことからについて考えるべきではないかと思ひます。

ますが、過去四年間にわたりみなさまがたより与えたいだいたの尊い経験と今後の町政に生かし、全力を尽くし明るい東栄町発展のために努力いたす覚悟でございすので、今後ともいっそうのご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

私は、原田町長の基本施策である教育、生活環境、住民福祉に努力いたすことはもちろんであります。が、次の事項をとくに推進したいと思ひます。

(一)、明るい町づくりは住民の不平不満が原因であると思われれるから、ひずみと差別のない町政実現に努める。
(二)、保健医療活動の向上をはかり東栄病院を名実ともに町の誇りうる病院となるよう努力したい。

(一)、郷土の自然(山林)が水資源涵養に果す役割をもつと評価して、県も国ももつと私有林の保護育成に力を貸すべきだ。
(二)、郷土の自然(川)の保護・管理・運営は現状のままではいざらうか。

(三)、国道・県道・町道・林道等の開発、改修、整備はもつとできないものか。
(四)、文化施設の県移管はできないものか。
(五)、病院の運営も県でやってもらえないものか。

(六)、全地区に上水道施設はできないものか。

経済建設委員

むら もと よし お
村本 嘉夫

(大字三輪)

今回、企画課において私どもの抱負を掲載することになり、これは私どもの当然の義務と信じ私の政治姿勢について日ごろ考えていることを申しあげたいと思ひます。町議会議員としての私の考え方は、町政に携わる者常に人の上に立つて政治を行なうのではなくて人の後に立つて政治を行ない、物の上の上に立つて常に世論の動向を察知しながら尊いみなさまの声を聞いて町執行側に反映し実現できるように努力しなくてはなりません。したがって、大衆に奉仕の信念を忘れてはなりません。私どもの職

責は住民の意思決定機関であり代表者でもあります。住民の意思を代表する者で構成されております。議会は、福祉を考えた住民の立場に立つて判断しなくてはなりません。が、町の平和を願う余り議会が有名無実の形式的な審議機関であつてはならないことを自覚し調査、勉強、努力、反省をして、今日より明日を考えながら前向きに住民の要望に答えるべき勉強をしなくてはなりません。また、議会においては執行の部まで立入った考え方は反省しなくてはなりません。世の中で一番たいせつな者は自分であり自分の育った部落であります。しかし、東栄町の議員として町全般を良く認識して公平なる行政ができるよう住民の意思決定機関として、次のようなことに努力いたします。

(一)、多くのみなさんと多くの話し合いの場をもつて相互の理解を深め、みなさんに町政を知っていただくよう努力、勉強、反省をします。
(二)、議会の場においてまた日常の中で、みなさんの声をじゅうぶん聞いてその意思が実現できるように努力いたします。
(三)、山間地特有の自然の美を尊重したいせつにながら、特に過疎地域特有の老人対策、医療施設について調査、勉強をし、過疎対策事業の精神を尊重し、公平なる村

(これより六面につづく)

策が町全般にできるような努力いたします。
四、私は常任委員会は経済建設委員であり、特別委員会は病院運営委員であります。この所管とする問題について特に勉強をしています。

経済建設副委員長

ほんだ じゅん
本多 潤

(大字振草)

今回、町民各位のご支援によりまして再び町会議員の末席を汚すことを得ましたことは、まことに身にあまる光栄であります。因より微力な私ではございますが、町民一人一人の幸せへの橋渡しの役割を果たすことを理念として、自分の全熱情を打ち込んで、今日より明日へと東栄町が飛躍し住民が潤うよう町民の代表者として職務にまい進し、もってご期待に答えたいと決心しております。

本町には幾多の懸案があります。病院問題、教育問題、消防団員減少問題等が山積しており、これも過疎の里なるゆえから発する問題かと思えます。特に私は人を作り尊い自然「財産」を守るべき教育と消防問題には全力を注いで対処しなくてはと思えます。さらに、過疎化現象を少しでもくい止めるためにも、地元産業の中心である農業、林業の振興をなおいっそう

積極的に推進し、もって生活基盤の安定を築く施策が重要なポイントになるかと思えます。また各地域間のバランスのとれた行政をモットーに、特に辺地地域についてはすべての面で優遇処置をとらなくてはと痛感いたしており、役場の簡易出張所を二、三カ所設けることも考慮する必要性があるようです。

要は町民各位が安住できる自然の町東栄町を築くことが私たちに課せられた職務でもあり、子孫のためにもそうする義務があるように思われます。改良するべき点に改良し、推進するべきことは町長を中心として議会がバックアップし勇断をもってどんどん行なわれて、よりよい町、住みよい私たちの町の建設にまい進する決意でございます。

今度ともいっそうのご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

厚生委員

なめ はる お
夏目 春夫

(大字三輪)

このほど、企画課より当選にあつたの抱負を知らすようにとの連絡がありました。率直に私の信条を申し述べみなさまのご理解とご指導をお願い申し上げます。一、清潔公平を基本に明るく住みよい郷土建設に努力します。

経済建設委員長

はらだ こうさく
原田 耕作

(大字本郷)

今回の町議会改選に際しましては、全町内多数のかたがたから恩愛あふれる格別のご推挙を賜り、衷心より深くお礼申し上げます。今後、みなさまがたのご指導をいただきつつ使命の重大さを自覚し最善をつくすことを紙上をお借りしてお誓い申し上げます。

今や地方財政はたいへんむずかしい時代となりました。他方、行政への要求は増すばかりです。この際国や県が当然なすべき事業等は早くやつてもらい、また移管のできそうな施設や事務は極力移し町負担を少しでも軽くすることが得策です。将来町政運営にいつその能率化と経済性とを求められ

る厳しい時代に対応できるよう、微力ながら最大の協力、助言をいたしたいと思えます。ここ数年來町政は著しく実績を上げています。多額の租税公課引取税を納めながら改良開発をまわっている所もまだ残っており、また税外負担の

軽減など、これらも納税者心理をくんで改善すべき問題であります。

「河を治むるは其源を養ふにあり、源を養ふは山を治むるにあり樹芸の道此に於てか大なり」
(金原明善)

林野庁試算によつて単純に町内森林の年間水源涵養機能だけをみても一億以上の保水能力をもち佐久間ダム貯水量の約四割に相当し、最低七円と仮定し約七億円以上となる。緑のダムと言われるわけで、水源流域周辺の町村、議会、農林関係団体や住民が積極的に世論をつくり、電流電力会社、水利受益産業や都市住民等に利益負担を求める政治的一大キャンペーンを起す好機である。これは今日魅力ある第一次産業を成立させる基本的命題である。

また、五十年年度当局予算を見るに、農林部特別会計を除いた農業関係予算は一般会計予算の二割である。林務および治山関係予算はそれぞれ〇・二六割、〇・五七割で、給与等差引いた実質額は、たとえ一百万円の県支出金の中でそれぞれ二十円および五十三円で合計七十三円ほどではない。緑の公益機能の評価、山村地域の農林

一翼として住宅建設の推進を。以上申し述べ、微力ではあります。がみなさまのご意見を尊重しご期待に報いたい覚悟でございます。今度ともよろしくお願い申し上げます。

業振興、過疎対策等は美辞令句の作文であり、まるで行政のレールにのっていない。警察費と教育費とで五十一割を占めるのと比べ愕然とて長嘆息するほかはない、われわれのもっとも信頼せんとする身近な行政府にして此の如し。自らも県予算等についての研究会をもち県議員を促し、これまた地域ぐるみの一致団結をし、政治的働きかけ以外に過疎山村に光明を見出す事はほとんど絶望的にあるように思う。

最後に、民俗文化の精華「花祭り」に相応しい保存をなし、かつ香り高き芸能として江湖に広めるべきである。かつて昭和五年四月中在家花祭り一行二十三名が東京芝三田綱町の渋沢敏三子爵邸で演舞している。東京進出の嚆矢である。亡父の当時の日記に観客二百五十名、大盛會にて大成功とある。今なら世界芸能文化典に国外でやるのも夢でない時代である。当時驚くような一流の学者、芸術家、文化人の大家が足繁来郷されそのかたがたに深く理解され価値を高められて世に紹介された。渋沢敏三・折口信夫・宇野浩二・小野民夫・土屋喬雄・肥後和男・今和次郎・浜田庄司・柳宗悦・宮脇晴・古野清人・有賀喜左衛門・村尾雅章・ゲルトシュミット(デンマーク)・早川孝太郎他多数。政治家や軍人は一人も記録にない。石黒忠篤先生のみが例外で、自由な文化人が心から愛好したのであつた。

一翼として住宅建設の推進を。以上申し述べ、微力ではあります。がみなさまのご意見を尊重しご期待に報いたい覚悟でございます。今度ともよろしくお願い申し上げます。

総務文教委員長

むらまつ よしお
村松 義男

(大字中設楽)

衣食足って礼節を知る。人は霞を食って生きて行けない。私は町政の基本姿勢は町民の経済生活を安定させることにあると思いません。かつて一万人余の人口を擁していた町が今日七千人を割り、過疎を嘆くことになった原因は経済生活の貧困にあったのではないのでしょうか。今町内には草ぼうぼうになっている休耕田や先祖が営々として築き上げた田んぼに杉の木が植えられて行くのが各所に見受けられますが、まさに政治の貧困誤りを物語る証拠であります。現在、町はまず何よりも経済優先の政策をとり、一万人の町民の食べて行ける方途を講ずべきであると思いません。

次に、教育立町ということばはりっぱであり、人造りのたいせつなことは申すまでもありませんが「道は近きにある」、高遠な理想よりも先ず義務教育の充実が先決。今日中学校は統合されて軌道に乗せることができましたが、その陰で小学校に犠牲が強いられていることはひどい。このごろ町内の小学校をまわってみて、老朽して塗装のはげた学校、雨漏りのするまま放置されている学校、便所がないただまま経費がなくて手の付け

られない学校等、その荒れ方はなほだしいものがあります。そして、それらを直すのには応急的に二・三百万円もあれば何とかなるのに、それも容易でない町財政の苦しさはどこからくるのでしょうか。

現在、町には社会教育施設としての総合文化センター、天文科学センター、医療機関としての東栄病院、産業センターとしての産業会館等、誇るべき施設があり、それなりの評価はありますが、もそれらへの投資のために経済政策に手がまわらなかつたり、義務教育などが置き去りにされているとしたら？。これは皮相な見方といわれるかも知れませんが、深く検討を要することではないでしょうか。

そこで私は提唱します。(一)、総合文化センター、天文科学センター、東栄病院等は県営かまたはそれに準ずるものを持つていくこと。

経済建設委員

すぎやま しげじ
杉山 茂治

(大字月)

四月の町議会改選に当たり、町民のみなさまから寄せられた暖かいご支援、ご同情を心から感謝申し上げます。町民の審判を受け、多数のみなさまからのご信任により幸い三選を遂げることができま

(二)、水資源の永久的供給源として都市人口を支えている見返り資金の獲得によって、営農営林事業を振興し、特に林道網を拡充して森林の生産価値を高め省力化を図ること。

(三)、郡内十一の未開発県道のうち四路線が東栄にあることは遺憾、一線でも改修の実現するように努力すること。

(四)、町民の居住するところ、たとえ一軒家でも車の行ける道をあけ

厚生委員

すずき こうじ
鈴木 孝治

(大字本郷)

去る四月二十七日の町議会議員選挙に当選させていただきました。から早や三カ月余になります。その間短い期間ではありますが、数々の貴重な体験と勉強をさせて

した。私は今再び初心にかえり、トップランナーとしてリレーのスタートラインに立った時のような緊張感と責任感に身も心も引き締まる思いでございます。一議員として町執行者に協力し、町行政の一環として町民の健康と幸福を守り続ける機関としての責任と義務の重さを感じるものです。国政、県政から任せられ預けられた事業が財源が、真の目的のよう

ることに。

(五)、東栄病院はりっぱにできたし医師も充実した。このうえは即刻出張診療を始めること。

(六)、未開発資源、たとえば古戸の鐘乳洞、千代姫前の泉源等の再開発を図ること。

最後に私はあくまでも町政は公平・公正に行なわれ、特に町費は各地区に均衡のとれた投資がなされなければならぬことを書きそえて結びとします。

ただいいております。

選挙期間中、春雨にうたれながら町民のみなさまに立候補するにあつたの基本姿勢として、「公平な心で常に町民のかたがたとの対話を通じて、町の現状と将来への展望を踏まえながら明日に向けて積極的に行動していきたい」とことを訴えてご理解とご支持をお願い

て平等に行き渡っているかどうかまた、利用効果がじゅうぶんに発揮されているか。それが法規則に合致しルールに従って施行されているかどうか。じゅうぶんなる議会審議がなされ、時期・規模が適当であつたかどうか。過去八カ年実施された事業を振り返って見ると反省すべきところもたくさんありまして、議会人としての責任を感じております。今後につきましては、理想は目的であり目標でありますから、これによって十年の将来よりも今日明日の現実が必要な場合が多い

いしてまいりましたが、街頭のみなさまの真剣なまなざしと、駆けよって固く握手を求められた手のぬくもりは、今だに鮮烈な印象となつて私の脳裏に焼きついております。私はその尊い体験をたいせつにしなが、まじめに議員としての勤めを果たしていきたいと思っております。

町議会の構成では、厚生委員、造林委員として働かせていただくことになり、二日間にわたって厚生委員会所管の諸施設(保育園、水道、町営住宅、病院、衛生処理施設、各福祉施設等)を見学し検討させていただきます。また、一年生議員は他の委員会(総務文教、経済建設)所管の施設も見学しながら勉強させていただきますが、

(これより八面につづく)

ことを認識し、均衡のとれた町政発展を願ひ、他人にも厳しく自分にはなおいっそうきびしく、常日ごろ町民のみなさまと喜怒哀楽をともにし分かちあつていけるような町政を念願し、福祉・教育・産業その他の環境整備を図り生活基盤を充実するために、町民の納得のゆく形の仕事・予算を立てるよう議員として真の代弁者として働いていく覚悟でございます。町民のみなさま、よろしくご指導、ご鞭撻をくださいますようお願いいたします。

初めての議会活動の一つとして、まず実状をよく知ることがたいせつであり、そしてその上に立つて新しい感覚で問題点を掘り下げ、その対策については常に住民の側に立つて誠意をもって取り組まなければならぬと思っております。「初心忘るべからず」—私は当

議長 (総務文教委員兼)

さん だか ひろし
三 高 宏

(大字本郷)

去る五月、改選後の初議会において、はからずも議長の要職に推されてよりその責任のいよいよ深く重いものを痛感しております。町の利益増進をどう進めるべきか、福祉と幸福をもたらすものは何か、また町民各位にはどんな不満があるか、ゆれ動く社会経済と相まって、財政硬直化の渦の中にあつて議会はこれら解決の諸施策をいかに取り上げ推進してゆくかが当面の課題ではないかと思ひます。言いかえれば、住民全体の意思をよく把握し、議会における定められたルールに従つて審議に参加し、議会活動に専念するという基本的態度がいつそう強く要求される時代に入ったと言へると思ひます。

こうした意味から、私は特に議員各位の協力を得て、円滑な議会運営のためけんめいの努力を傾注したいと考えております。そのた

選させていただいた時の感激とみなさながらの付託に答えなければならぬ責任とを心にきざみつけながら、微力ではありますが議員の一人として一步一步地道に努力を重ねていくつもりですので、いつそのご叱声とご指導をお願いいたします。

めには、議会と首長は相互に対策の関係でそれぞれ自主的にその機能を行ない、相互にけん制と調和によつて地方自治の円滑な運営をはかるというたて前を今一度再認識して、抑制均衡制とをふまえての議会活動の姿勢を確立する努力を傾けたいと思ひます。

と同時に、地方財政が深刻な危機に迫りこまれつつあるとき、それに対応して議会としても新しい発想のもとに町政そのものを根本的に問いなおしてみることが必要ではないかと思ひます。つまり急激に変動する社会の実情をじゅうぶんに把握しつつ町民各位の意思や諸利益を統合した政策を決定しそれを執行機関に反映さす努力がますます必要になってきてると思ひます。そして、もつとも大きなウェイトをもつ政策決定機能をより充実することは、いわば新しい時代の要請であると受けとめていきます。私は議員各位とともに、町民各位の意思が反映できる議会運営を確立し、これを通して町勢の伸度に寄与すべく努力をいたす所存でございますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(昭和50年7月1日現在)

東栄町役場機構図

